
平成30年度予算第一特別委員会質問要旨

○ 局別審査 平成30年3月12日

質問者（質問順）

- 1 伊波俊之助 委員（自民党）
- 2 今野典人 委員（民進党）
- 3 仁田昌寿 委員（公明党）
- 4 宇佐美 さやか 委員（共産党）
- 5 山田桂一郎 委員（維ヨコ）

こども青少年局

局 別 審 査

1 伊 波 俊之助 委員（自民党）

1 民間認可保育所の休園について

- (1) 当該保育所が休園する経緯について伺いたい。
 - (2) 児童の処遇に関する対応について伺いたい。
 - (3) 今回の事案の要因分析を行い、再発防止策を講じるべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 市としても、4月以降、児童の保育の場がない事態が起こらないよう、最大限の支援を図ることを強く要望する。

2 30年度こども青少年局予算の方針について

- (1) 30年度こども青少年局予算の編成にあたっての所感について伺いたい。
- (要望) 一人ひとりにしっかりと寄り添った対応を行い、市民の皆様の御期待に応えられるよう要望する。

3 待機児童対策について

- (1) 30年4月に向けた受入枠の確保状況について伺いたい。
- (2) 30年4月の待機児童ゼロ達成の見込みについて伺いたい。
- (3) 本市独自の保育士処遇改善実施の背景と内容について伺いたい。
- (4) 保育士修学資金貸付の実績と効果について伺いたい。
- (5) 事業者の保育士採用活動を支援する新たな取組について伺いたい。
- (6) 保育士確保に対する意気込みについて伺いたい。

4 私立幼稚園2歳児受入れ推進事業について

- (1) 幼稚園において2歳児を受け入れる意義について伺いたい。
- (2) 利用料についての考え方について伺いたい。

- (3) 私立幼稚園2歳児受入れ推進事業を始めるにあたり、重視している点について伺いたい。
- (4) 本格実施に向けた展開について伺いたい。
- (要望)適切に運営できる体制や環境を整えることにより、質の高い保育を保障し、横浜ならではの制度として、実施を広げていくことを要望する。

5 ひとり親家庭の自立支援について

- (1) 市民意見募集において寄せられた意見について伺いたい。
- (2) ひとり親家庭の自立支援に向けた課題認識について伺いたい。
- (3) 横浜市の計画における特徴的な取組について伺いたい。
- (4) 30年度予算における取組と今後の展開について伺いたい。
- (5) 区における相談支援機能の強化について伺いたい。
- (6) ひとり親家庭の自立支援の推進方策について、副市長に伺いたい。

6 児童虐待対策について

- (1) 児童虐待の相談や通告先に関する広報・啓発の取組について伺いたい。
- (2) これまでの区役所の体制づくりと30年度の機能強化のねらいについて伺いたい。
- (3) 区役所の専門性強化の取組について伺いたい。
- (4) 地域や関係機関とのネットワーク強化の取組について伺いたい。

7 医療的ケア児の支援について

- (1) 医療的ケア児の現状について伺いたい。
- (2) コーディネーター養成にあたっての各局の連携について伺いたい。
- (3) 本市と地域の関係機関が連携して、医療的ケア児の支援を推進する具体的な仕組みが必要と考えるが、副市長に見解を伺いたい。
- (要望)いつまでも全国に誇れるような支援体制を作り上げていただくことを要望する。

2 今野典人委員（民進党）

1 DV対策について

- (1) 相談支援体制の更なる充実を図るべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (2) 相談員の専門性向上のための取組について伺いたい。

2 待機児童対策について

- (1) 29年10月と30年4月の育児休業者への復職意思の確認方法の違いについて伺いたい。
- (2) 育児休業給付金の制度改善が必要と考えるが、見解を伺いたい。
- (3) 新たな保育の担い手を確保する取組について伺いたい。
- (4) 保育士の子の優先入所に対する取組について伺いたい。
- (5) この（認可保育所の休園）ようなことが起きた際、事業者を強力に支援し、対応していくべきと考えるが、見解を伺いたい。

3 放課後児童健全育成事業について

- (1) 放課後キッズクラブの30年度の設置状況と今後の設置見込みについて伺いたい。
- (2) 28年度における放課後キッズクラブの17時まで及び17時以降のそれぞれの平均利用児童数について伺いたい。
- (3) 留守家庭児童の放課後キッズクラブのニーズを把握する取組について伺いたい。
- (4) 放課後児童クラブの分割・移転等の29年度末の実施見込か所数と今後の対応必要か所数について伺いたい。
- (5) 放課後児童クラブの分割・移転等の今後の取組についての考えについて伺いたい。
- (6) 自己保有物件のクラブに対する支援についての課題認識について伺いたい。

4 子どもの貧困対策について

(1) 寄り添い型生活支援事業について

ア 寄り添い型生活支援事業を実施する意義について伺いたい。

イ 寄り添い型生活支援事業による具体的な支援の効果について伺いたい。

ウ 寄り添い型生活支援事業の今後の展開の考え方について伺いたい。

(要望) より多くの本市の子どもたちの未来のために、迅速に事業拡充を進めていただくことを要望する。

(2) 地域における子どもの居場所づくりサポートモデル事業について

ア 29年度のモデル事業の取組状況について伺いたい。

イ 子ども食堂の取組の課題について伺いたい。

ウ 子ども食堂の取組を更に広げるための30年度の支援の充実内容について伺いたい。

エ 子どもの貧困対策は、社会全体で取り組む必要があると考えるが、副市長の見解を伺いたい。

3 仁 田 昌 寿 委員（公明党）

1 妊娠期から子育て期までの途切れのない支援について

- (1) 母子保健コーディネーターの配置によって整ってきた支援の内容について伺いたい。
- (2) 子育て世代包括支援センターとして、地域子育て支援拠点において充実させていく取組について伺いたい。
- (3) 子育て世代包括支援センターの本格実施に向けた今後の取組について伺いたい。
- (4) 産婦健康診査における産後うつスクリーニングの結果と対応について伺いたい。
- (5) 区福祉保健センターにおける、産後うつリスクの高い方への支援の内容について伺いたい。
- (6) 産後うつ対策の強化に向けた今後の取組について伺いたい。
- (7) 区役所における学齢期の子どもの相談体制について伺いたい。
- (8) 支援が必要な子どもとその家庭に対する、虐待の発生予防を視野に入れた総合的な支援を強化すべきと考えるが、副市長の見解を伺いたい。

2 地域療育センターについて

- (1) 地域療育センターの初診待機の現状について伺いたい。
- (2) 地域療育センターにおける早期支援の取組について伺いたい。
- (3) 発達障害児が増加する中で、求められているサービスの変化について伺いたい。
- (4) 地域療育センターの今後の役割として、保育所等の障害児支援の全体的な底上げに取り組むべきと考えるが、見解を伺いたい。

3 地域型保育事業の連携について

- (1) 地域型保育事業の卒園後の受入先の確保状況について伺いたい。
- (2) 市立保育所における地域型保育事業の卒園後の受入枠の設定状況について伺いたい。
- (3) 今後の卒園後の受入先の確保に向けた本市の取組について伺いたい。

4 保育・幼児教育の質の向上について

- (1) 大量退職の予防に向けた法人としての取組について伺いたい。
- (2) 法人の取組をどのように促進していくのか伺いたい。
- (3) 本市独自の保育士処遇改善の実施により期待する効果について伺いたい。
(要望) 保育士処遇改善について、引き続きの更なる拡充を要望する。
- (4) 園内研修・研究の取組を支援するねらいについて伺いたい。
- (5) 園内研修・研究の取組支援における課題と今後の展開について伺いたい。
- (6) 保育・幼児教育の質向上のための推進体制を整備することが必要と考えるが、副市長の見解を伺いたい。

5 よこはまユースについて

- (1) 中間支援組織として最近新たに始めた取組について伺いたい。
- (2) 組織としてのノウハウの継承や人材育成の取組について伺いたい。
- (3) よこはまユースのノウハウを活かし、青少年の科学に対する関心を高めたり、科学に係わる青少年が活躍できるような取組を進めるべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (4) 子ども・青少年を育成する環境づくりをより一層進めていくため、よこはまユースが市民利用施設等と連携した取組を進めていくべきと考えるが、見解を伺いたい。

6 貧困対策について

- (1) 子ども食堂等の取組に対する支援として、民間のフードバンクとの連携を進めていくことが必要と考えるが、見解を伺いたい。
- (2) 地域の子ども食堂等の取組についての情報発信について伺いたい。
- (3) ウェブサイトを活用して、子ども・子育て支援に関する情報発信を一層進めるべきと考えるが、見解を伺いたい。

7 関係局区が連携した子ども・子育て支援施策の推進について

- (1) 子ども・子育て支援施策の推進にあたり、関係局区の連携を一層強化すべきと考えるが、副市長に見解を伺いたい。

4 宇佐美 さやか 委員（共産党）

1 保育行政について

- (1) それぞれの転園先を一人のもれなく完全に確保する責任は本市にあると思うが、見解を伺いたい。
- (2) 残った1・2歳児の、この1年間の保育についても本市としてどうかかわっていくのか、また、本市が責任をもって、一人のもれなく転園先を確保することが必要と考えるが、見解を伺いたい。
- (3) 休園となる保育園を運営している法人に対して強く再発防止を求めるべきと考えるが、見解を伺いたい。

2 放課後児童クラブの分割・移転促進について

- (1) 29年4月1日時点の放課後児童クラブの面積基準に適合させるための分割・移転が必要なか所数、29年度末の実施見込み数、30年度の目標か所数、31年度に持ち越すか所数について伺いたい。
- (2) 29年4月1日時点の放課後児童クラブの耐震基準のみを満たさない分割・移転が必要なか所数、29年度末の実施見込み数、30年度の目標か所数、31年度に持ち越すか所数について伺いたい。
- (3) これまでの分割・移転等の支援内容について伺いたい。
- (4) 現在の支援の取組について伺いたい。
- (5) 面積基準・耐震基準が規定された経緯について伺いたい。
- (6) 基準適合ができなかったクラブへの32年度以降の補助について伺いたい。
- (7) 30年度の目標の大幅な引き上げが必要だと考えるが、見解を伺いたい。
- (8) 本庁での専門スタッフの増員と各区役所に専門の人員配置をすべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (9) 条例の経過措置期間も見直すことを考えていくべきと考えるが、見解を伺いたい。

(10) 基準を満たすために物件に対して補助を行うべきと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 人海戦術で物件を探し、補助で支えることを要望する。

3 困難を抱える若者支援について

(1) ひきこもりの若者について、24年度の調査後、改めて調査は行っているかについて伺いたい。

(2) 24年度調査での調査人数及び回答人数について伺いたい。

(3) 町内単位でも全戸調査をして、ひきこもりの若者がいるのかを把握するべきと考えるが、見解を伺いたい。

(4) 本市の若者自立支援機関の過去3年間の実利用人数について伺いたい。

(5) 地域若者サポートステーションを増やすべきと考えるが、見解を伺いたい。

(6) 地域ユースプラザを増やすべきと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 地域ユースプラザの全区での設置を要望する。

(7) 区におけるひきこもり等の困難を抱える若者の専門相談の実績と所感について伺いたい。

(8) ひきこもり等の若者支援セミナー・相談会を実施する狙いについて伺いたい。

(9) 専門相談は区役所だけでなく、地域ケアプラザなど広く地域に出向いて実施すべきと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 40代、50代の方々も支援を必要としており、全庁的な視点で対応することを要望する。

4 子どもの貧困対策について

(1) 子どもの貧困対策について、こども青少年局がイニシアチブを取って進めるべきと考えるが、見解について伺いたい。

(2) 就学援助、生活保護など、総合的に見ていただくのは副市長の仕事だと考えるが、副市長の見解を伺いたい。

(要望) 横浜市を支える子どもたち・若者たちをしっかりと支えることを要望する。

1 放課後等デイサービスについて

- (1) 市内の放課後等デイサービス事業所における事故の報告件数の過去3年の推移と28年度の内訳について伺いたい。
 - (2) 事故報告件数が増加していることへの捉え方について伺いたい。
 - (3) 事故の再発防止に向けた指導内容について伺いたい。
 - (4) 事業所の質の向上に対する考え方について伺いたい。
- (要望) 国に対して、情報を集積して検証を行い、再発防止を講じるように要請することを要望する。

2 児童相談所と神奈川県警察の連携について

- (1) 児童相談所と神奈川県警察の連携に関する協定締結の実績について伺いたい。
 - (2) 連携協定の効果について伺いたい。
 - (3) 今後の児童相談所と警察の連携強化の決意について伺いたい。
- (要望) 児童相談所と警察の緊密な連携によって今よりも児童虐待防止対策が推進されるよう、専門家を増やしていただくよう要望する。

3 里親推進事業について

- (1) 里親等への委託の過去3年間の推移について伺いたい。
- (2) 里親委託を進めるうえでの課題について伺いたい。
- (3) 里親支援を充実するための30年度の取組について伺いたい。
- (4) 子どもの健やかな成長のため、里親家庭も地域で支えていくべきと考えるが、見解を伺いたい。